

津山市における市営プール整備の経緯一覧表

年度	市営公認プール (50m)	久米市民プール (25m)	関係団体等の動き (それに対する対応)	市及び各会議体の動き						
				プールのあり方検討会議	自分ごと化会議	市ファシリティマネジメント委員会	庁内プール協議	久米プール基本方針策定委員会	庁内協議	
昭和36年度	公認50mプール開設									
	中国五県予選大会 岡山県選手権大会 岡山県水泳大会等に利用									
平成7年度		町民プール開設								
平成13年度		久米中学校プールの利用開始 健康増進プールの認定 (H13~14)								
平成17年度	老化(築38年)		12月 スポーツ協会が市議会へ「総合屋内50m公認プール建替」の請願書を提出 採択 建設場所: 建替え(現在の市役所東駐車場)							
平成19年度	プール閉鎖		当時の市長が、スポーツ協会関係者に、非公式に「将来的に建設する」と伝える							
平成23年度			12月 スポーツ協会が市議会へ「総合屋内25m公認プール(可動床)建設」の請願書を提出 採択 建設場所: 津山地域を想定							
平成27年度										
平成29年度				2月 開始						
平成30年度			10月 スポーツ協会が津山市へ「総合屋内25m公認プール(可動床)建設」の要望書を提出 受理 建設場所: 津山地域を想定 課題: 使用できる補助金等なし			1月 答申				第5次総合計画中期実施計画 ○公認市営プール整備事業(旧市内) 令和3年度に実施予定
平成31年度 (令和元年度)				8月 終了		11月 開始 ↓ 1月 終了				
令和2年度		老化(築26年)が進み大規模修繕、建替の議論が始まる	スポーツ協会が独自見積(公認プール) 金額: 約20億円 場所: グリーンヒルズ内で想定 補助等: なし スポーツ協連との意見交換会で資料提供				7月 あり方検討会議・自分ごと化会議を受け、庁内での協議を開始			
令和3年度		修繕による維持の限界 応急修繕: 1,920万円	10月 スポーツ協会が津山市へ「総合屋内25m公認プール(可動床)建設」の要望書を提出 受理 建設場所: 指定しない							第5次総合計画後期実施計画 ○久米プール改修事業 中期実施計画の公認市営プールと久米プール改修事業の計画を統合させて実施する案の検討指示 ※協会からの要望が「建設場所を指定しない」とされたことから、久米市民プールの建替えに併せた公認機能の追加の検討を始める
令和4年度		健康増進プールに公認プール機能を付加し、2つのプール機能を持った施設に建替える 応急修繕: 120万円	9月 スポーツ協会が市議会へ「総合屋内25m公認プール(可動床)建設」の請願書を提出 採択 建設場所: 指定しない				12月 終了			請願が採択されたことを重視し、過疎債を活用した久米市民プールの建替えに併せ、公認機能の追加を本格的に検討する 10月 現市営プールの適正化基本方針 策定 11月 久米総合文化運動公園市民プール基本構想策定 11月 プール利用者を対象としたアンケートを実施 12月 高校生・大学生対象のWG開催 1月~2月 サウンディング調査(市場調査)
令和5年度		津山市の計画案 事業費: 約21億円 場所: 久米総合文化運動公園内 整備財源: 過疎対策事業債 津山市負担: 約6.3億円	審議会への諮問内容 ①建設場所の妥当性(津山地域・久米地域) ②公認プール機能付加の必要性 公認: 建築費 約21億円→津山市負担約6.3億円 運営: 指定管理料の上限額 約5,600万円 非公認: 建築費 約16億円→津山市負担約4.8億円 運営: 指定管理料の上限額 約3,000万円 公認プールでの大会誘致可能性 公認プールでの地域活性化の可能性 ③必要諸室及び規模 ④その他、利用促進等について 小・中・高校等での利用の可能性				1月 開始 ↓ 5月 終了 (計5回開催) ↓ 6月 意見書提出			7月 久米総合文化運動公園市民プール基本計画に関する資料(基本計画骨子)による 市議会勉強会 9月 スポーツ推進審議会へ諮問 11月 スポーツ審議会答申(予定)
令和6年度										DBOによる公募型プロポーザル方式での業者選定(予定)